

(配布先)

施工担当部署長、建設所長
副部長、副所長、統括工事長
設備部長、安全長、安全主任
S・BLC関西社
関西支店取引業者災害防止協議会

事務連絡(安-2019-31)

令和元年 10月1日

関西支店

安全環境部長



【紙回覧】 棚足場の崩壊災害防止について(要請)

安全環境本部安全部長より要請がありましたので連絡します。

過日、他支店作業所において、棚足場が崩壊し、3名(労働者1名・
一人親方2名)が被災するという災害が発生しました。幸い、水平ネット
が設置していたことによりスラブへの墜落ありませんでしたが、あつては
ならない事案です。

災害速報が添付されていないので、詳細は不明です。
要請にあるように同種災害を防止するため、別紙安全対策事項の
周知を宜しく願います。

以 上

(配布先)
部門安全環境部長

事務連絡 19-28
令和元年 9 月 30 日

安全環境本部
安全部長



棚足場の崩壊災害防止について（要請）

過日、当社作業所で、梁杵（SPL 7 2）を使用した棚足場（高さ約 5 m）が崩壊し、3 名が被災するという災害が発生しました。外部荷取りステージ（最大積載荷重 1 t）上で、台車に資材（約 1 t）を乗せ、通路としてのコンパネを盛替えながら移動していたところ、棚足場が崩壊したものです。幸い、棚足場下部に設置した水平ネットによって大事には至りませんでした。あつてはならない事案です。

調査の結果、当該棚足場は上記の資材移動に耐えられるものではありませんでした。また、当該棚足場の梁杵の固定方法及び最大積載荷重表示の位置が適切ではなく、最大積載荷重の数値にも誤りがありました。

つきましては、同種災害を防止するため下記事項を徹底するよう作業所関係者に周知してください。

記

1. 梁杵を使用して棚足場を計画する際は、別紙 1 をもとに荷重検討を実施するとともに、その性能を十分発揮できるよう梁杵の上下をクランプで緊結する。（別紙 2 参照）
2. 最大積載荷重の異なる作業床を隣接して設ける場合は、その範囲が明確に分かる表示を設置する。
3. 棚足場の下部には水平ネットを設置する。
4. 梁杵を使用した棚足場を設置している作業所は、上記の項目について点検を実施する。

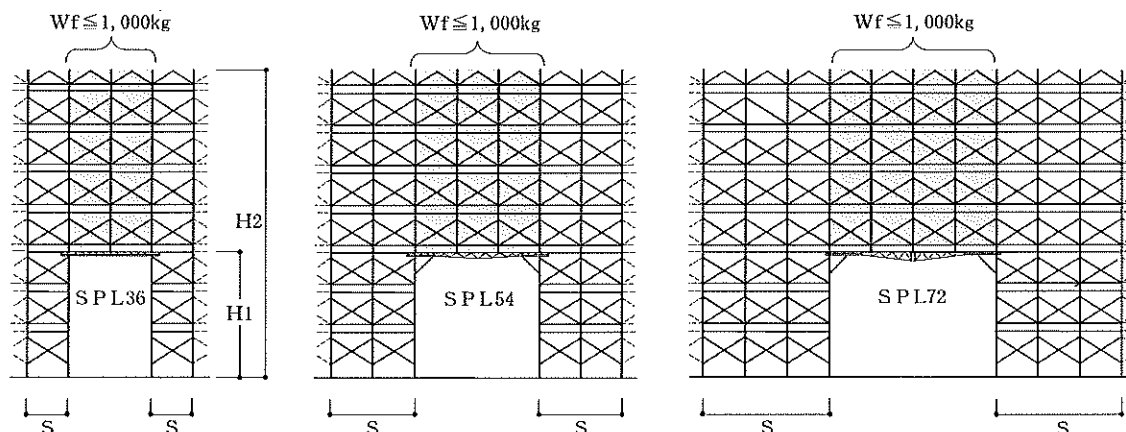
以 上

開口用梁

許容耐力

○ SM式わく組足場

- 許容積載荷重： 梁わくから上部の積載荷重の合計は $W_f \leq 1,000\text{kg}$

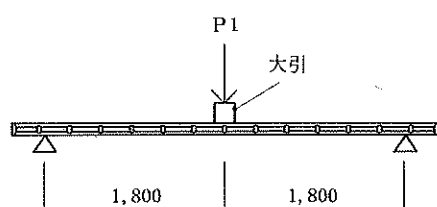


- 留意点：・ 開口部高さ $H1$ は、原則 3 層以下です。

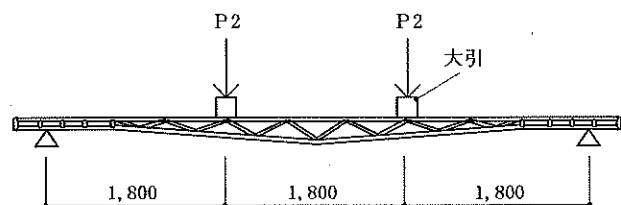
- ・ 開口部両側のわく組足場必要スパン数 S は、上図以上です。
- ・ 必要スパン数 S および梁わく上方のわく組足場については、全スパン、全層にわたり両面に交差筋かいを取り付け、かつ、床付き布わくを建わくの幅いっぱいにして下下さい。
- ・ 梁わく等を用いて開口部を設けたわく組足場の高さ $H2$ は、地上から 30m 以下として下さい。（設置する足場について、梁わく支持部の建わくに作用する荷重を検討し、必要により補強の措置を講ずる等の安全性の確認を行ったときはこの限りではない。）

○ 棚足場

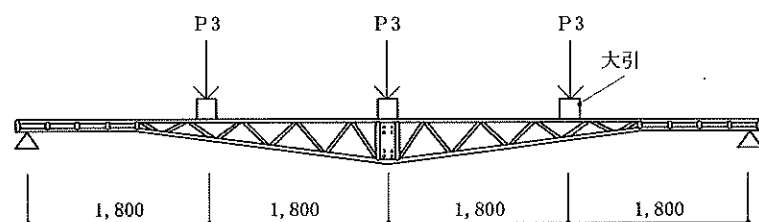
- 許容積載荷重と固定荷重の合計の許容支持力 (SPL 1 列当り)



$$P1 = 3.92\text{kN} (400\text{kgf})$$



$$P2 = 2.45\text{kN} (250\text{kgf})$$



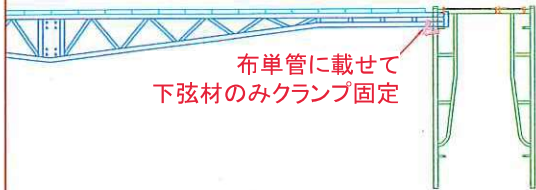
$$P3 = 1.61\text{kN} (165\text{kgf})$$

外部足場

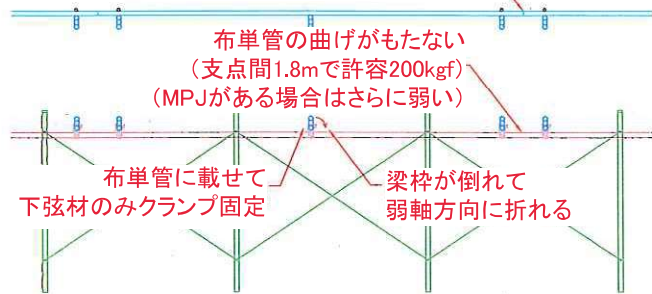
SM式わく組足場

C14

今回の組み方

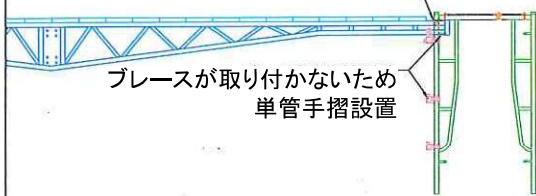


足場板を突合せ敷きとするため
梁枠と建枠のピッチが合わない

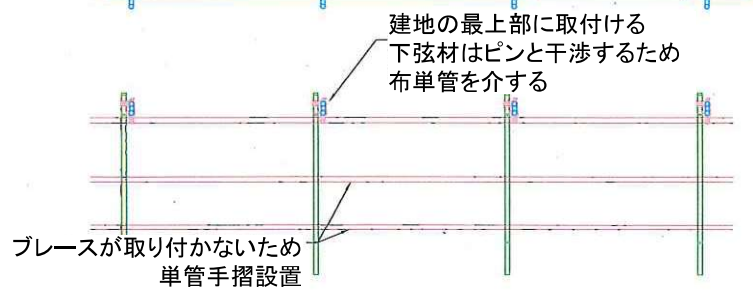


施工例(1)

建地の最上部に取付ける
下弦材はピンと干渉するため
布単管を介する



足場板ラップ敷き
厚み分の段差有り

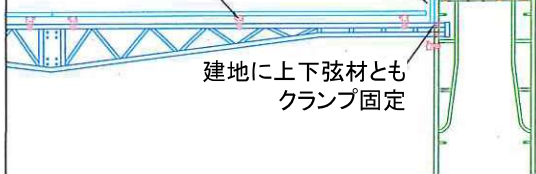


施工例(2)

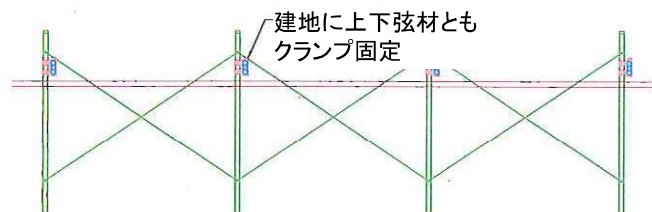
根太単管を流して
足場板敷き

枠組の床と
段差ができる

建地に上下弦材とも
クランプ固定



根太単管を流して
足場板敷き

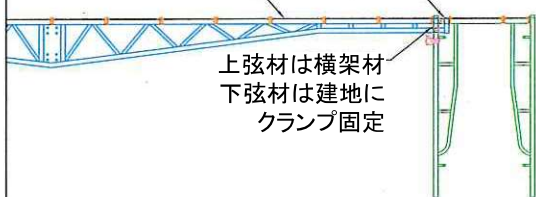


施工例(3)

アンチ敷き

隙間ふさぐ

上弦材は横架材
下弦材は建地に
クランプ固定



アンチ敷き

